

森林 だより

第36号
令和2年5月発行

八頭中央森林組合

代表理事組合長 前田幸己
鳥取県八頭郡八頭町郡家763-10

《本所》
TEL (0858) 72-1111
《用瀬事業所》
TEL (0858) 87-2737
《若桜事業所》
TEL (0858) 82-5220
《国産材加工場》
TEL (0858) 84-2234

目次 ■ contents

- 実践体制評価認定事業体の認定について 1
- ふるさと森林相談会に参加しました 1
- 第17回通常総代会開催 2
- 令和元年度経営状況 / 八頭中央森林組合事業実績推移 3
- 令和2年度事業計画 組合長挨拶 / 運営方針 4
- 森林づくり協議会 第2回会議の開催について 4
- 施業現場レポート 5
- 第4回森林組合まつり・森林シンポジウムの開催について 5
- 森林組合活動スナップ 5
- 利用事業および購買品のご紹介 6

実践体制評価認定事業体の認定について



八頭中央森林組合は令和2年3月19日付で、有識者を委員とする「実践体制評価委員会（以下「委員会」という。）」による「実践体制評価認定事業体」の認定を受けました。「実践体制評価」とは、提案型集約化施業の実施体制が、森林組合の組織内で確立されているか否かを、公正・中立な審査機関である「委員会」が、専門的かつ客観的な立場から評価するものです。

審査は事前の書類審査と現地審査ならびにこれらの結果に基づく、「委員会」による総合審査により行われました。現地審査は委員が当組合に赴いた上で、役員に対するヒアリングと口頭試問を行う形式で実施されました。

今回、外部評価を受けた内容を精査して今後の取り組みの改善に結びつけるとともに、認定を受けたことで得られるメリットを活用していくことで、組合員の皆様から安心して任せられる事業体として、提案型集約化事業を更に推進していきます。

ふるさと森林相談会に参加しました



令和2年1月22日に大阪、1月24日に東京で開催された全国森林組合連合会主催の「ふるさと森林相談会」に参加しました。この相談会は、都市にお住いの不在村森林所有者の方を対象にふるさとに所有している森林の現状説明や管理の相談等を行うもので両会場とも多くのご来場をいただき、「ふるさとにある山林のことが気になっていたが今後の手入れのことなどを相談することが出来て安心した」「山林の将来のことを任せることが出来てうれしい」などの声をいただきました。

当組合では、今後も「ふるさと森林相談会」に参加して不在村森林所有者の方の相談に応じ、管内の森林保全を推進していきます。

第17回通常総代会開催 令和2年3月28日(土) PM1:00～ 八頭中央森林組合(八頭町郡家)



八頭中央森林組合(八頭町郡家) 令和2年3月28日(土)



議長
上田 欣吾 氏
(河原地区)



来賓挨拶 若桜町長 矢部 康樹 氏



永年勤続職員表彰

令和2年3月28日(土)午後1時00分より八頭町郡家「八頭中央森林組合」にて総代263名のうち251名(本人出席1名、書面出席250名、代理人出席0名)の出席により第17回通常総代会を開催しました。来賓を代表して若桜町長 矢部康樹氏にご挨拶を賜りました。このたびは新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点より書面議決による通常総代会となりましたが、総代の皆様のご理解とご協力をいただき無事開催に至りました。議長には鳥取市河原地区 上田欣吾氏が選任され円滑な議事進行により提出した1号議案から9号議案の全議案が承認されました。

また、組合規程に従い、永年にわたり職員として本組合の発展に貢献した平木正樹、砂場博利、長谷彰、向井康二、杉本義則、猪口洋典、柳谷寛、澤田正一、谷口正樹の職員9名について永年勤続職員表彰を行いました。

第17回通常総代会提出議案

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和元年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案の承認について |
| 第2号議案 | 令和2年度事業計画の設定について |
| 第3号議案 | 令和2年度役員報酬額の決定について |
| 第4号議案 | 令和2年度1組合員に対する貸付金及び貸付利率の最高限度の決定について |
| 第5号議案 | 令和2年度借入金の最高限度額の決定について |
| 第6号議案 | 令和2年度余裕金預け入れ先金融機関の決定について |
| 第7号議案 | 令和2年度諸手数料額の決定について |
| 第8号議案 | 国立研究開発法人森林研究・整備機構造林事業について |
| 第9号議案 | 附属書森林組合役員選任規程及び附属書森林組合総代選挙規程の一部改正について |

令和元年度事業報告書

自 平成31年2月1日
至 令和2年1月31日

昨年は全国的には相次ぐ台風の襲来や集中豪雨など、自然の脅威にさらされた一年でありました。県内においては一昨年のような大きな自然災害はありませんでしたが、その傷跡が残った一年でありました。平成の時代を振り返りますと、戦後に植林された森林の樹齢が50～60年を経過し、森林整備（間伐、枝打ち）の時代でありました。一方で、木材価格（杉）は平成元年26,000円/m³であったものが、平成31年10,000円/m³と大幅に低下しました。その結果、日本の木材蓄積量は60億m³、人工林の成長量は年間5,300万m³と日本有史以来最大の資源量となり、森林率は67%と、オーストラリア、ドイツ、フィンランドと肩を並べ、世界でも有数な森林国となりました。日本の課題は、それらの国の人工林当たりの年間利用量10m³/haに対し、2m³/haと1/5に留まることであり、これを解決するために木材利用の拡大、搬出費削減対策として路網整備が求められているところです。元号が改まり「令和」となった新しい時代にどう山と向き合うか、森林組合の活動に期待されていると考えております。

国は令和元年度より林業の成長産業化を目指した「新たな森林管理システム」を発表されました。この新しい制度は「森林所有者の管理責務」「市町への経営管理の委託」「経営管理実施権の意欲と能力のある事業者への再委託」が柱となっています。その実現に必要な費用は森林環境譲与税で措置され、令和元年度は200億円、令和2年度は400億円が計上されます。当組合はこれを実現するため、関係市町の理解のもと、管内関係団体の方々で構成した「森林（もり）づくり協議会」を設立し、管内の森林管理の方向性を議論していただいております。

令和元年度事業につきましては、通常総代会で承認された計画に従い施業を進め、取扱高は前年対比114%と伸びましたが、利益については前年並みとなりました。事業量については、路網整備40,113m（計画55,000m・前年43,049m）、搬出間伐面積339ha（計画580ha・前年328ha）、搬出量46,226m³（計画60,000m³・前年44,074m³）の実績で計画を大きく下回りました。また、事業収益については、1,061,720千円（計画997,000千円・前年928,510千円）、計画比106.5%、前年比114.3%、事業費用は979,366千円（計画919,090千円・前年852,413千円）、計画比106.6%、前年比114.9%となり、今期の損益状況は、費用の削減に努めた結果、経常利益11,744千円（計画2,310千円・前年11,982千円）を計上することができました。事業の推進を図れましたことは、組合員の皆様のご理解と関係機関のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。令和2年度は今年度の反省と教訓を生かし、組合員の皆様の付託に応えうる森林組合として一層努力する所存でございます。今後とも組合員皆様の格別のご理解とご協力をお願い致します。

■損益計算書

金額（千円）

科 目			前 年 度	令和元年度実績	2年度計画
事業総損益	事業総収益	①	928,510	1,061,720	1,011,000
	事業総費用	②	852,413	979,366	931,845
	事業総利益	③ = ① - ②	76,097	82,354	79,155
事業管理費	④	70,479	74,615	75,600	
事業利益	⑤ = ③ - ④	5,618	7,739	3,555	
事業外損益	事業外収益	⑥	6,965	12,405	5,000
	事業外費用	⑦	601	8,400	3,000
	事業外利益	⑧ = ⑥ - ⑦	6,364	4,005	2,000
経常利益	⑨ = ⑤ + ⑧	11,982	11,744	5,555	
特別損益	⑩	388	2,124	0	
税引き前当期純利益	⑪ = ⑨ + ⑩	12,370	13,868	5,555	
法人税・住民税及び事業税額	⑫	8,000	7,000	5,000	
当期剰余金	⑬ = ⑪ - ⑫	4,370	6,868	555	
前期繰越剰余金	⑭	3,064	3,434	2,901	
当期末処分剰余金	⑮ = ⑬ + ⑭	7,434	10,301	3,456	

八頭中央森林組合事業実績推移



※平成26年度より取扱高には、受託販売高を計上していない。

組 合 長 挨 拶

社会は本年正月明けより始まった新型コロナウイルス感染拡大により世界が振り回されています。鳥取県においても緊急事態宣言が出されており「3密対策」、「行動制限」、「マスク」、「手洗い」の徹底に取り組んでいます。これの世界経済に与える影響はリーマンショック時の数倍と言われ、終息後の経済復興が懸念されます。林業、木材産業に対する影響も心配されますが、今回のコロナウイルスは現代の拡大し続けた流通により食料の自給率37%の農業、木材の蓄積量100年分以上ありながら自給率38%の林業に警鐘を鳴らした感があります。

八頭中央森林組合にとっても令和2年度は平成28年度からスタートしたアクションプログラム「3210」の最終年度であります。平成32年度10万m³達成を目指してここ4年間取り組んでまいりましたが、残念ながら計画の達成は厳しい状況であります。しかし5ヶ年計画最終年度、総括の年としての活動を展開します。国の新しい政策である「新たな森林管理システム」の構築を目指し鳥取県、各市町との連携をさらに強め、管内の森林整備の推進に取り組めます。組合員各位のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

運 営 方 針

区 分	内 容
統 括	平成28年度からスタートした森林組合アクションプログラムの最終年度・総括の年として取り組む。 また、昨年より始まった「新たな森林管理システム」の実現に向け関係市町との連携を一層強化する。 森林組合の活動として、管内森林整備を進めると共に、それにより生産される木材の有利販売に取り組み、また活動を通じ組合員に貢献すると共に地方創生の実現を目指す。そのために、安全施業の徹底と効率的な施業により生産性の向上を目指し、オーストリア林業の実現に向けた挑戦に取り組む。
指 導 部 門	①集落説明会を積極的に開催し、森林経営の森林組合への受託を推進し森林経営計画の策定を推進する。 ②森林整備を進めるため森林組合員や各集落と森林組合の絆を深める。 ③森林整備の重要性、必要性について普及・啓発に取り組む。 ④安全作業の徹底に努めると共に、より良い職場づくりを目指し担い手の確保に努める。
販 売 部 門	①蓄積された森林資源の有効的な活用を目指し、計画的な施業に努め計画販売の有利性を追求する。 ②作業班体制を強化するため、管内の林業事業体との連携を更に強化する。 ③技術力を高め効率的な森林整備を目指す。
加 工 部 門	①間伐搬出により生産された木材を利用した商品開発に取り組む。 ②展示販売施設から「地域材活用促進」情報を発信する。 ③関係機関・団体との連携を強化し新商品の開発に取り組む。
森 林 整 備 部 門	①森林整備を進めるためプランナー力のアップにより更なる団地化の推進と事業管理に取り組む。 ②造林補助金・森林整備地域活動支援交付金・環境譲与税の積極的な活用に取り組む。 ③林業資材・林業機械器具等林業に必要な資材の提供に取り組む。 ④品質の優良な造林用苗木の供給に取り組む。

森林づくり協議会 第2回会議の開催について

令和元年度第2回森林づくり協議会（以下「第2回協議会」という。）が令和元年10月23日に開催されました。林会長のあいさつの後、「第1回森林づくり協議会議事録」についての報告、続いて「現状の課題」「市町に対する要望内容」「新たな森林管理システムに対する各市町の主な取り組み状況」について2時間40分に渡り活発な協議がなされました。議論の中で森林整備に関するユニークなアイデアなども提案されました。

第2回協議会終了後、会議で交わされた議論を基に「令和2年度林業政策・予算に関する要望書」を作成し、令和元年12月23日、林会長・西村副会長・協議会事務局の三者で、鳥取市・八頭町・若桜町の林務担当課長に要望書を提出致しました。



施業現場レポート



現場 長尾線 間伐搬出事業
(若桜町来見野地区)

お話を伺った方 総代 川戸義幸 さん

施業面積： 6.21ha

搬出材積：1,131m³

作業道延長：1,179m

(施業のきっかけは?) すでに2箇所の団地化間伐事業で森林組合にお世話になっており、この度は行き止まりになっている県営林道より作業道を延ばして長尾、下清谷方面の間伐施業を進めていくことを自治会でまとめ、森林組合に施業を依頼しました。

(施業を実施していかがでしたか?) 施業地は元々が農地筆や山筆の焼き畑地などで一筆面積は少なく、境界は複雑に入り組んでおり、境界明確は時間を要しました。自家所有林を知り現地まで行ける所有者は1人程で、手伝いながら境界印を記入していくなどして境界を確認していく作業に苦労しました。

施業完了後、かつては荒廃した細い山道しかなく父祖が植林した地に行ったことがない人も多かったが、広い道がついて容易に行くことが出来るようになりました。開設した作業道は町の補助金を使うなどしながら維持管理をしていくことにしています。

第4回森林組合まつり・八頭町森林シンポジウムの開催



令和元年10月19日(土)、八頭町中央公民館(八頭町宮谷)にて第4回森林組合まつりを開催しました。あいにくの雨天でしたが、組合員の方をはじめ沢山の方にご来場いただきました。また、八頭町森林シンポジウムでは株式会社オロチの常務取締役工場長の相見晴久氏による講演「山を活かす」と、関係市町をパネラーに迎えてパネルディスカッション「『新たな森林管理システム』への取り組みについて」を実施しました。

森林組合活動スナップ



林道ウォーク(加工場見学)



千代川流域森林フォーラム



日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取



安全パトロール



山ノ神の日(安全研修)

利用事業および購買品のご紹介

山林の手入れ・庭木の伐採 ご相談ください お見積り無料

道やお墓に張り出した木の伐採

山林の手入れ

竹の除伐

大きくなった庭木の伐採

枝下ろし

枯木・危険木の撤去

吊り切り

草刈り等

<お問合せ・お見積り>

八頭中央森林組合 推進課

TEL: 0858-72-1111



樹上枝下ろし作業 (河原町 I 邸)



クレーンによる特殊伐採 (八頭町 K 邸)

マイタケ原木

販売価格
1本 **880円** (税込)

数量限定! 6月末までの受付となります。

<ご注文・お問合せ>

八頭中央森林組合 若桜事業所

TEL: 0858-82-5220

Email: yazuchuo-wakasa@clear.ocn.ne.jp



植菌済みで伏せ込むだけ!

マンション等のベランダでも栽培できます!
栽培方法などお気軽にお問い合わせください。



パワー森林香

パワー森林香 (赤函)
30巻入り 1箱 **1,300円** (税込)

携帯用防虫器
(森林香2巻入り) 1個 **960円** (税込)

※) 入荷時期により価格が変わる場合があります。

<ご購入・お問合せ>

八頭中央森林組合 購買係

TEL: 0858-72-1111



これからの野外での作業に

森林作業、農作業、アウトドアに!
組合職員も愛用している虫除け線香です。



薪

薪ストーブ、
アウトドアに

クヌギ、ナラなどの
広葉樹の乾燥薪です。
(約33~36cm)

価格は引取り価格となります。
配達には別途料金がかかります。

1コンテナ (約0.85m³)

24,200円 (税込)

1束 (9~10本)

880円 (税込)



※ 写真は3束になります。

<ご購入・お問合せ>

八頭中央森林組合 国産材加工場

TEL: 0858-84-2234